



BCMS 実証運用の概要について

2008年7月30日

(財)日本情報処理開発協会
情報マネジメント推進センター

財団法人日本情報処理開発協会(JIPDEC) 情報マネジメント推進センター(本センター)では、BCMS 適合性評価制度の正式運用に向けての検討に資するため、BCMS実証運用を開始します。今回の実証運用を通じて制度及び基準類の評価を図りながら、正式運用への準備を進めて行く予定です。

1. 基本方針

企業・組織において事業継続を図る上で影響を及ぼす様々なリスクに対して、どのように対応を図っていくのかは、大きな課題である。企業・組織にとって、そのような不測の事態においても事業そのものを中断することなく、継続・維持するための方針や手続きをまとめたものが BCP (Business Continuity Plan: 事業継続計画) である。また BCP の作成も含め、事業継続の戦略的な運用管理の手法が BCM (Business Continuity Management: 事業継続マネジメント) である。


BCP/BCM は自然災害やIT事故など様々な脅威を前提として構築される。とりわけ、昨今は事業のITへの依存度が高まっており、事業継続を考える際にも多くの場合、直接・間接のいずれにせよ、ITシステムを除外して考えることは不可能である。また、事業継続性の確保の観点から、これらITシステムに対する脅威は、企業・組織全体に対する事業に影響を及ぼすものであることを認識した上でBCP/BCMを策定することが重要であり、そうした方法論に対するニーズが高くなってきている。そして、BCM ライフサイクルが効果的に運用管理され、改善されることを確実にするマネジメントシステムが BCMS (Business Continuity Management System: 事業継続マネジメントシステム) であり、これに対応する規格として BS25999-2 がある。

また、BCMS は、IT セキュリティとも密接に関わっているため、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)や IT サービスマネジメントシステム(ITSMS)などの既存の IT 関連の規格との整合性からのアプローチも有効であると考えられる。[別紙参照]

このような状況を踏まえ、JIPDEC としては、IT 化しつつある、わが国の産業の健全な発展を図るため、BCMS 認証基準(BS25999-2)を用いた枠組みによる BCMS の普及・定着を、国際整合性への意識をしつつ図っていくこととする。

2. 実施内容

2.1 BCMS 実証運用の概要

Business Continuity Management System 

BCMS実証運用の概要

(1) BCMS実証運用の目的

BCMS適合性評価制度の正式運用を実施するための準備として、平成20年度の実施をBCMS実証運用と位置付け、実証運用により組織の認証審査等を評価することを目的とする。

実証運用時に適用する認証規格はBCMS認証基準(BS25999-2)とし、実証運用を通じて正式運用時のBCMS認証基準の内容も検討していくこととする。


(2)実施方法

BCMS実証運用の実施では、当協会は申請された認証機関の評価を行い、認証機関は組織へのBCMS認証を行う。

なお、実証運用では「仮認定」、「仮認証」とし、実証運用期間終了後、審査等を経て正式な「認定」、「認証」に移行する。

Copyright JIPDEC BCMS,2008

2.2 BCMS 実証運用体制

Business Continuity Management System 

BCMS実証運用体制

準備運営委員会の設置

BCMS実証運用の円滑かつ公平な実施のため、BCMS準備運営委員会を当協会内に設置し、認証機関の認定に必要な基準や審査員の資格基準等について検討し、かつ諮問的な役割を担う。また、正式運用の検討の役割も担う。

技術専門部会の設置

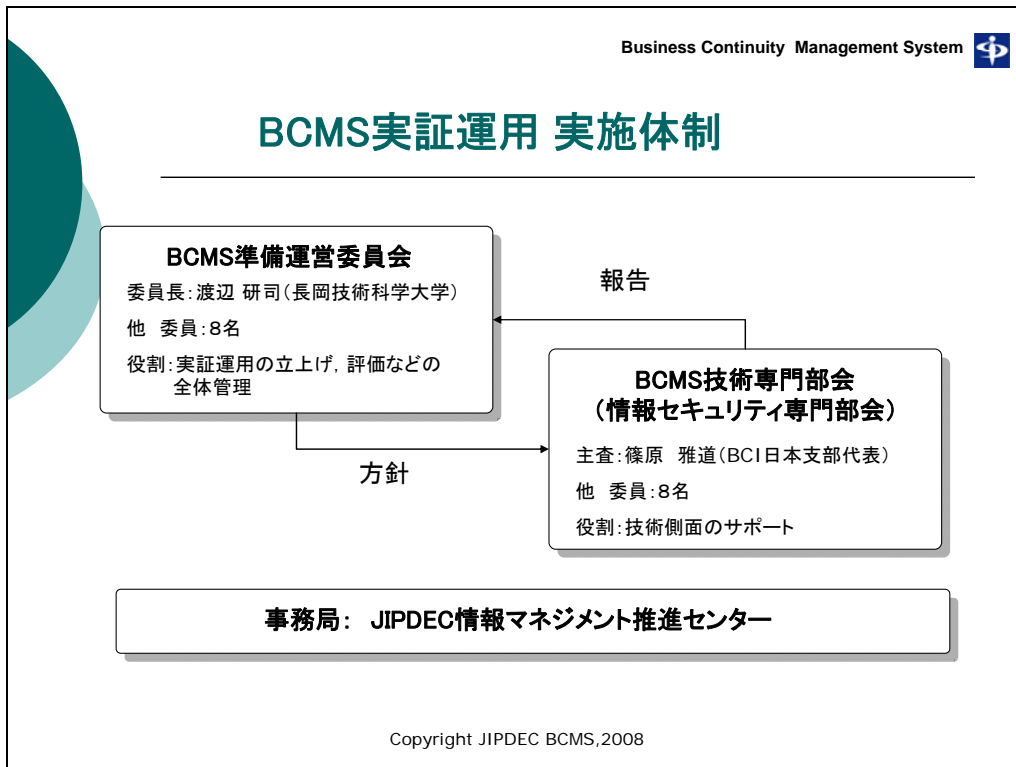
BCMSに関連するガイド等を作成し、かつ利害関係者との協議を行うための場として、BCMS技術専門部会及び作業部会を設置する。

事務局の設置

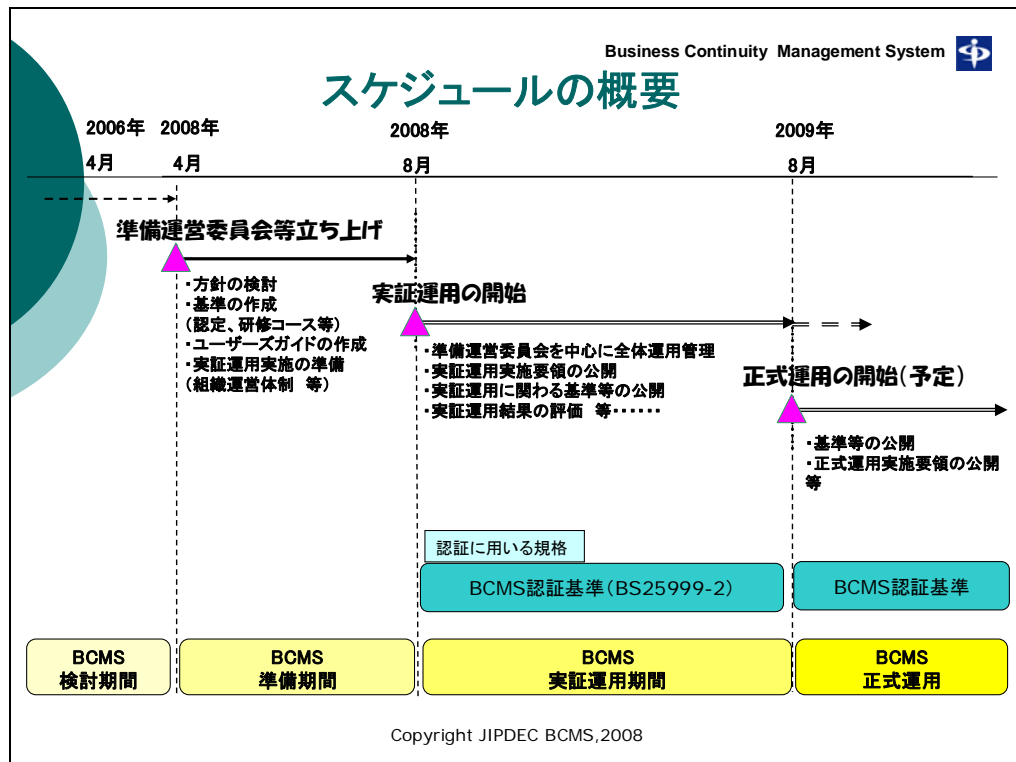
BCMS実証運用を円滑に推進するため、当協会内に事務局を設置する。

Copyright JIPDEC BCMS,2008

2.3 BCMS 実証運用 実施体制



2.4 スケジュールの概要



以上

別紙:BS25999-2 と他のマネジメントシステム規格の対応

BS25999-2 と他のマネジメントシステム規格の対応

BS25999-2:2007	ISO/IEC 27001:2005	BS25999-2:2007	ISO/IEC 27001:2005
0 序文(まえがき)	0 序文 0.1 一般 0.2 プロセスアプローチ 0.3 他のマネジメントシステムとの両立性	5 BCMS の監視及びレビュー 5.2 BCMS のマネジメントレビュー 5.2.1 概要 5.2.2 レビューへのインプット 5.2.3 レビューからのアウトプット 5.1 内部監査	7 ISMS のマネジメントレビュー 7.1 概要 7.2 レビューへのインプット 7.3 レビューからのアウトプット 6 内部監査
1 適用範囲	1 適用範囲 1.1 一般 1.2 適用		
	2 引用規格		
2 用語及び定義	3 用語及び定義	6 BCMS の維持及び改善 6.1 予防処置及び是正処置 6.2 継続的改善 6.1.3 是正処置 6.1.2 予防処置	8 ISMS の改善 8.1 継続的改善 8.2 是正処置 8.3 予防処置
3 BCMS の計画 3.1 概要 3.2 BCMS の確立及び管理	4 ISMS 要求事項 4.1 一般要求事項 4.2 ISMS の確立及び運営管理 4.2.1 ISMS の確立 4.2.2 ISMS の導入及び運用	附属書 A BS EN ISO9001:2000, BS EN ISO 14001:2004, BS ISO/IEC27001:2005 の対応表	附属書 A 管理目的及び管理策 附属書 B OECD 原則及びこの規格 附属書 C ISO 9001 : 2000、ISO 14001 : 2004 及びこの規格の比較
4 BCMS の導入及び運用 4.1 組織の理解 4.2 事業継続戦略の決定 4.3 BCM 対応の開発及び導入 4.4 BCM の取組みの演習, 維持及びレビュー	4.2.4 ISMS の維持及び改善		
3.4 BCMS の文書及び記録 3.4.1 概要	4.3 文書化に関する要求事項 4.3.1 一般		
3.4.3 BCMS 文書の管理 3.4.2 BCMS 記録の管理	4.3.2 文書管理 4.3.3 記録の管理		